

2023年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年6月14日

上場会社名 VALUENEX株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4422 URL http://valuenex.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 中村 達生
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 CFO (氏名) 鮫島 正明 TEL 03 (6902) 9833
 四半期報告書提出予定日 2023年6月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年7月期第3四半期の連結業績（2022年8月1日～2023年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年7月期第3四半期	544	4.3	72	△5.6	70	△20.3	70	6.3
2022年7月期第3四半期	522	35.1	76	-	88	-	66	-

(注) 包括利益 2023年7月期第3四半期 71百万円 (△6.9%) 2022年7月期第3四半期 76百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年7月期第3四半期	24.74	23.84
2022年7月期第3四半期	23.32	22.72

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年7月期第3四半期	920	810	87.8
2022年7月期	967	736	75.8

(参考) 自己資本 2023年7月期第3四半期 807百万円 2022年7月期 733百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年7月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2023年7月期	-	0.00	-	-	-
2023年7月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年7月期の連結業績予想（2022年8月1日～2023年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	675	3.4	15	△62.3	12	△75.6	12	△62.8	4.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年7月期3Q	2,893,300株	2022年7月期	2,889,300株
② 期末自己株式数	2023年7月期3Q	54,000株	2022年7月期	54,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年7月期3Q	2,838,036株	2022年7月期3Q	2,831,359株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予測などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は同日にTDnetで開示及び当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(会計方針の変更)	5
(セグメント情報等)	5
3. その他	5
継続企業の前提に関する重要事象等	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは「世界に氾濫する情報から”知”を創造していく」ことをミッションとし、他に類のない自然言語処理・類似性評価・2次元可視化・指標化等の技術により、さまざまな文書情報を用いた各種の解析サービスを提供しております。

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策としての活動制限が緩和されることにより経済活動が徐々に再開されている一方、為替相場の変動やロシアのウクライナ侵攻に起因した資源価格の高騰など、依然として先行き不透明な状態が継続しています。

このような環境の下、当社グループは、引き続き国内及び海外におけるコンサルティングサービス及びASPサービスのさらなる販売拡大に取り組んだ結果、国内のASPサービスを中心に堅調に推移いたしました。また、営業活動等で必要な人材の採用を行いまして、採用は5名となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は544,333千円（前年同期比4.3%増）、営業利益は72,385千円（前年同期比5.6%減）、経常利益は70,540千円（前年同期比20.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は70,198千円（前年同期比6.3%増）となりました。

なお、当社グループはアルゴリズム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

主なサービス別の状況は以下のとおりであります。

(a) コンサルティングサービス

当第3四半期連結累計期間におけるコンサルティングサービスの売上高は、287,944千円（前年同期比4.2%減）でありました。

(b) ASPサービス

当第3四半期連結累計期間におけるASPサービスの売上高は、251,733千円（前年同期比18.2%増）でありました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は850,656千円となり、前連結会計年度末に比べ42,433千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が59,269千円、仕掛品が578千円減少し、売掛金が2,801千円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は69,360千円となり、前連結会計年度末に比べ5,406千円減少いたしました。これは減価償却等によって有形固定資産が3,170千円、投資その他の資産が2,236千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ47,840千円減少し、920,016千円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は109,093千円となり、前連結会計年度末に比べ121,715千円減少いたしました。これは主に未払法人税等が25,374千円、前受金が59,932千円、その他流動負債が36,973千円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は646千円となり、前連結会計年度末に比べ23千円減少いたしました。これはその他固定負債が303千円増加し、リース債務が326千円減少したことによるものであります。

この結果、負債の残高は、前連結会計年度末に比べ121,738千円減少し、109,740千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は810,276千円となり、前連結会計年度末に比べ73,897千円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益が70,198千円計上されたことと、新株予約権の行使により資本金が1,244千円、資本剰余金が1,244千円増加したことによるものであります。なお、2022年12月の減資及び欠損填補により、資本金が451,458千円減少し、資本剰余金が182,815千円、利益剰余金が268,642千円増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年7月期（2022年8月1日～2023年7月31日）の通期の連結業績予想につきましては、2023年4月27日に公表しました通期連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	820,451	761,181
売掛金	40,081	42,882
仕掛品	5,513	4,934
その他	27,044	41,657
流動資産合計	893,090	850,656
固定資産		
有形固定資産	52,640	49,469
投資その他の資産	22,127	19,891
固定資産合計	74,767	69,360
資産合計	967,857	920,016
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,167	5,125
リース債務	435	435
前受金	139,418	79,486
未払法人税等	25,374	-
賞与引当金	-	606
その他	60,413	23,440
流動負債合計	230,808	109,093
固定負債		
リース債務	471	145
その他	198	501
固定負債合計	670	646
負債合計	231,478	109,740
純資産の部		
株主資本		
資本金	531,458	81,244
資本剰余金	544,627	728,687
利益剰余金	△326,457	12,383
自己株式	△22,500	△22,500
株主資本合計	727,128	799,814
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	6,378	7,657
その他の包括利益累計額合計	6,378	7,657
新株予約権	2,873	2,805
純資産合計	736,379	810,276
負債純資産合計	967,857	920,016

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年8月1日 至 2022年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)
売上高	522,032	544,333
売上原価	106,619	126,781
売上総利益	415,412	417,551
販売費及び一般管理費	338,756	345,165
営業利益	76,656	72,385
営業外収益		
受取利息	11	6
助成金収入	13,356	-
その他	36	80
営業外収益合計	13,404	87
営業外費用		
支払利息	27	13
為替差損	1,381	1,918
その他	92	-
営業外費用合計	1,500	1,932
経常利益	88,559	70,540
税金等調整前四半期純利益	88,559	70,540
法人税、住民税及び事業税	22,544	342
法人税等合計	22,544	342
四半期純利益	66,015	70,198
親会社株主に帰属する四半期純利益	66,015	70,198

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年8月1日 至 2022年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)
四半期純利益	66,015	70,198
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	10,766	1,279
その他の包括利益合計	10,766	1,279
四半期包括利益	76,781	71,477
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	76,781	71,477

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年10月27日開催の定時株主総会の決議に基づき、2022年12月16日付けで減資の効力が発生し、当第3四半期連結累計期間において資本金が451,458千円減少、その他資本剰余金が451,458千円増加しております。また、増加したその他資本剰余金のうち268,642千円を繰越利益剰余金に振り替えることで、欠損填補に充当しております。

また、新株予約権の行使により、当第3四半期連結累計期間において資本金が1,244千円、資本準備金が1,244千円増加しております。

これらにより、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が81,244千円、資本剰余金が728,687千円となっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年8月1日 至 2022年4月30日)

当社グループは、アルゴリズム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)

当社グループは、アルゴリズム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。